

2014年(平成26年)4月3日(木曜日)

物流ニッポン LOGISTICS NIPPON

整備工場を新設

アサヒ
オート
作業効率2.5倍

アサヒオートサービス(横塚元樹社長、埼玉県小川町)は3月28日、自社整備工場をアサヒロジステイクス(同、嵐山町)の滑川営業所(滑川町)内に移転・新築した。

完成した施設は一部2階建てで、延べ床面積14400平方メートル。事務所棟には同営業所とアサヒオートサービスが入居する。整備工場(床面積10000平方メートル)には、トラック4レーン、

太陽光発電装置を設置した新整備工場



乗用車用1レーンなど計7レーンを設置。作業効率は従来の2.5倍となる。トラック用4レーンのうち、2レーンは大型車兼用としたほか、乗用車用はレーン長を生かして2両同時に整備できるリフターを備えた。

また、板金・塗装ブースに加え、将来の民間車検場としての運用を見据えて検査ラインも新設。アサヒロジステイクスの365日、24時間の運行業務へのフォロ一体制を一層強化させた。屋根上には出力47キロワット太陽光発電装置を設置。年間発電量は5万キロワット時を見込んでいる。施設内照明には高反射板タイプの蛍光灯を装備し、天窓を設けて自然光を取り入れ、日中の消費電力削減を考慮している。

保有車両数の増加や燃料価格の高騰、東日本大震災の教訓などを受け、同営業所内に併設した自家給油設備(30キロリットル)に加えて、今回70キロリットルの地下タンクを増設した。全社での備蓄量は240キロリットルとなり、7000両を超える保有車両が10日間の運行を行える計算。

(小瀬川厚)